

事務事業名	子どものための生活習慣改善事業		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業	法令根拠	なし
政策名	05	安心して暮らせる保健・医療環境づくり	所属部門	住民福祉 部 保健福祉 課	保健推進 係(グループ)
施策名	12	生涯を通じた健康づくり	課長名	江口 久子	担当者名 橋本淳子 (内556)
基本事業名	31111	健康づくりの充実	予算科目	会計 款 項 目 事業	0:1 0:4 0:1 0:1 ; 食生活改善事業
全庁共通課題	<input type="checkbox"/> 協働のまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 食のまちづくり <input type="checkbox"/> 環境 <input checked="" type="checkbox"/> 次世代				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 全体計画の投入量を記入 (開始年度 平成11 年度 ~) (年度 ~ 年度)				

事業概要 教育委員会で実施している児童生徒生活習慣病検査の事後指導として、検査結果が要指導・要精検の人を対象に実施。希望者は申し込みをもらう。日時は土曜日の午後を設定。当日は親子で参加していただき、小児科医師の指導、保健師の相談、必要な人は栄養士の相談を実施。当日都合が合わず参加できなかった人は翌週以降に来所していただき対応。	全体計画	(単位:千円)
	特定財源	
	一般財源	
	その他	
	事業費計 (A)	
	正規職員従事人数	
人件費		
人件費計 (B)		
トータルコスト(A)+(B)		

1 現状把握の部 (DO)	
(1) 事務事業の目的と効果 手段(具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	
16年度実績 日程調整・対象者通知し、資料準備、個別相談、事後管理、委託料支払、報告書作成、説明会当日42件、後日来所 8件	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 事後指導日 日 イ ウ
17年度計画 16年度と同様	対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 対象者数 人 イ ウ
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 教育委員会主催の児童生徒生活習慣病検査の結果、要指導・要再検の児童生徒	成果指標(対象における意図された対象の程度)数字は記入しない 名称 単位 ア 指導来所者数 数 イ ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 自分の健康状態を把握し、関心を向ける	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない 名称 単位 ア 正しい生活習慣が獲得できた人の割合 % イ 若年者の生活習慣病の発症者数 人 ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 健康的な生活習慣の獲得 (将来の生活習慣病を予防する)	

(2) 総事業費・指標等の推移									
	単位	14年度(実績)	15年度(実績)	16年度(実績)	17年度(見込)	18年度(目標)	19年度(目標)	年度(最終目標)	
投入量	事業費	千円	294	225	222	316			
	特定財源	千円							
	一般財源	千円							
	その他	千円							
	事業費計(A)	千円	294	225	222	316	0	0	0
	人件費	人	7	6	6	5			
正規職員従事人数	年間			0.0441					
人件費計(B)	千円	0	0	407	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	294	225	629	316	0	0	0	
活動指標	ア 日	7	7	7	7				
対象指標	ア 人	92	90	91					
成果指標	ア 数	37	37	48					
上位成果指標	ア %								
	イ 人								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・町民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か? 平成11年度より児童生徒の生涯にわたる健康づくりを積極的に進めるため、教育委員会で生活習慣病を発見する検査を実施。その事後として本事業が開始された。	事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期と比べてどう変わったのか? 有所見率に大きな変化はない。
この事務事業に対して関係者(町民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 参加者からは、このような機会があって良かった、子どもと健康について話し合うきっかけになった、と聞いています。一方で、参加申し込みしていない人でこちらが状況を確認したい人には申し込み勧奨の電話をしますが、その結果申し込みをして当日来ない人もいます。個人によって子どもの健康に対する親の関心度合いに大きな差がありますが、そういう人からの意見や要望は特にありません。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との結びつき この事務事業の目的は町の政策体系に結びつくか？意図することが上位施策に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びつかない [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 結びつく [理由] ↷	子供達の健康づくりは将来の生活習慣病予防に大きな意味を持つので結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 手が引ける [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 手が引けない [理由] ↷	大人になってから生活習慣病になり治療費をかけるよりも子どものうちに正しい生活習慣を身につけることのほうがはるかに経費削減となる。
	対象・意図の拡大又は縮小余地 対象と意図の拡大・縮小の余地はないか？(拡大による成果向上、限定・縮小による公的関与の適正化やコスト削減はできないか)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	申し込みのなかった人や、検査の結果、異常なしの人に対してのフォローを考えていきたい。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がある [原因] 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 余地がない [理由] ↷	養護教諭等と連携の中、その後の生活習慣の変化を把握していきたい。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無と有の場合の問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	平成16年度の場合、小学生で31.6%、中学生で18.2%が何らかの異常を持っている。この割合は例年さほど変化が無い。血液に異常を持つ子どもがこれだけいることが分かりながら、事業を廃止・休止することは、芽室町の10年後・20年後の医療費を大きくすることにつながる。
	類似事業との統廃合余地 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合余地はないか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 上記他に手段等の統廃合が可能 3 改革・改善方向の部へ <input type="checkbox"/> 上記他に手段はあるが統廃合できない ↷ [理由]	子どもに対する生活習慣病予防のための検査は他に無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ↷ [理由]
	全庁共通課題の貢献 全庁共通課題の解決に対してこの事業はどんな貢献をしましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 貢献した ↷ [具体的に] <input type="checkbox"/> 貢献していない ↷ [全庁共通課題にもかかわらず貢献していない場合はその理由]	生活習慣の早期改善により、子どもの生活習慣病を予防している。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(工法の適正化など)事業費を削減した場合の影響の有無と、問題解決策	<input type="checkbox"/> 影響無 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [具体的な影響] ↷ [問題解決策] 3 改革・改善方向の部へ	小児科医師の説明が無ければ、参加者は健康状態を十分に理解することができなくなる。多くの人が食生活の見直しが必要な状況であり、相談に十分対応するには臨時栄養士を活用する必要がある。
	人件費(業務所要時間)の削減余地 成果を下げずに所要時間を削減できないか？成果を下げずにより低賃金の担当者で遂行できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 可能 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 [理由] ↷	相談は一通りの話ではなく、参加者がその後の生活習慣を変えることが重要である。現行でも対象者の負担を考え、出来る限り短い時間で行うよう努力しているが、さらなる時間の短縮は、効果が薄れる可能性がある。
公平性 評価	受益者負担の適正化余地 受益者負担と一般財源が公平・公正な配分になっているか？	<input type="checkbox"/> 適正化余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部へ <input checked="" type="checkbox"/> 適正化余地がない [理由] ↷	検査ではないので、費用は町が負担することが望ましい。

3 改革・改善方向の部(PLAN)

(1)今後の事業の方向性(改革改善案) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(3)改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">成果</td> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">向上</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			×	維持				低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上			×																			
	維持																						
低下		×	×																				

(2)改革, 改善を実現する上で解決すべき課題は何ですか？それをどう解決していきますか？

事業実施にあたっては、対象者への呼びかけに教育委員会の協力が得られるかどうかを確認。食生活関連の内容であれば、学校での食育推進状況を確認し、情報を共有しながらすすめていくことが望ましい。